

第8回学術・政策勉強会 開催報告

日本麻酔科医会連合第8回学術・政策勉強会が2023年4月8日、九段会館テラスコンファレンス&バンケット 3階バンケットホール 真珠にて行われました。今回のテーマは”麻酔科医としてのアイデンティティはどこに行くのか”でした。まず武田純三代代表理事より特定行為に関する問題提起、麻酔指導医の資質についての提言がありました。



開会：武田代表理事

その後、副代表理事の小板橋俊哉先生の司会のもと、コメンテーターとして東京大学内田寛治先生、京都大学江木盛時先生、大阪大学藤野裕士先生をコメンテーターに迎えて、2つの講演が行われました。講演1として日本麻酔科学会理事長の山蔭道明先生より”麻酔科医を取り巻く環境変化について”のご講演を頂きました。働き方改革、認定看護師、ITの活用についてお話しをいただきました。働き方改革前の現状、日本麻酔科学会特定医行為認定看護師の指針、タスクシフトにおける動画での説明、電子同意書についてもご説明頂きました。講演2は学術推進プロジェクトリーダーの廣田和美先生から麻酔学分野の論文数は減少傾向にあり、学会発表自体が減っている実態が明らかにされた。特に私立大学からの学術集会への演題数が減っている。学位所得希望率、大学院進学率を上げる事が重要だとされていた。どちらの講演でもコメンテーターなどと活発な議論が行われました。



司会：小板橋 俊哉副代表理事

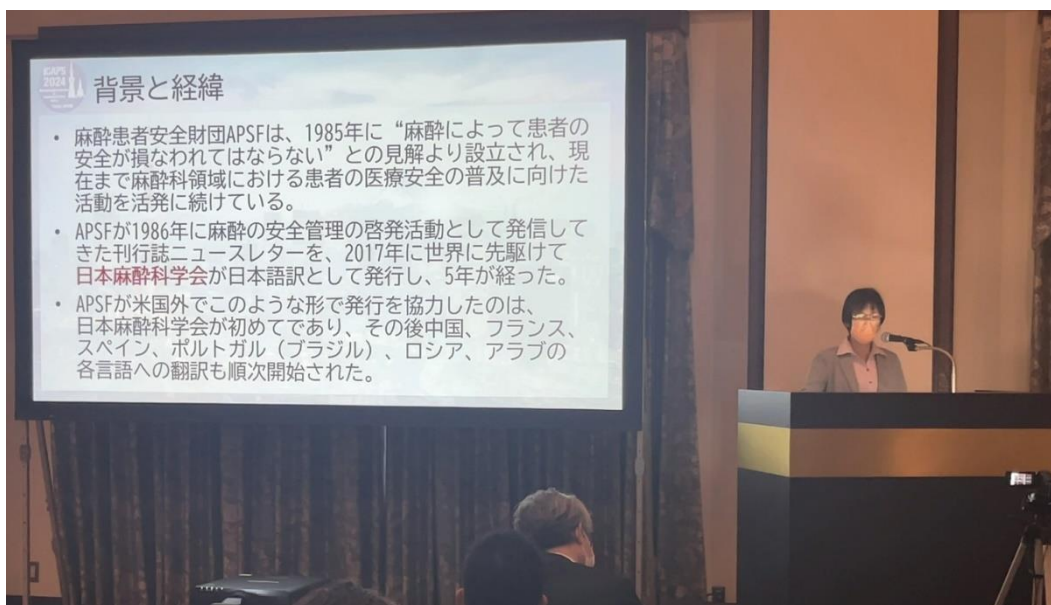


講演：山蔭 道明（日本麻酔科学会 理事長／札幌医科大学麻酔科学教授）

講演：廣田 和美（日本麻酔科医会連合 学術推進プロジェクトリーダー／
弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座教授）



その後には杏林大学の萬先生より International Conference on Anesthesia Patient Safety 2024 (ICAPS 2024)開催についてアナウンスがありました。2024年2月9日-11日に東京で行われるこの会議は世界初の安全な麻酔のための国際会議として行われます。是非皆さんで参加しましょう。



萬 知子 (ICAPS2024 大会長・杏林大学医学部麻酔科学分野教授)

最後に事務局長の森田潔先生よりご挨拶がありました。第9回の学術・政策勉強会は7月8日行われることが発表されました。また個人会員の募集についても発表がありました。

このように第8回学術・政策勉強会も盛会の内に終了しました。

【次回の開催情報】

第9回学術・政策勉強会

日時：2023年7月8日(土) 15:00~18:00

開催場所：九段会館テラス コンファレンス&バンケット

アクセス：<https://kudan-tokyo.jp/#access>